

全国試合役員会報告

◆日時/令和7年8月27日（水）

◆場所/JBC 本部事務局及び Zoom にて開催

◆開催に先立ち、浦川大将（帝拳）・神足茂利（M.T）両選手への冥福を祈り黙祷

【リング事故の意見交換】

■令和7年8月2日の興行で、2人の選手が亡くなる事故が起きたことを受け、今後の試合運営及びコミッションと共に意志統一を図っていくことを確認した。

■安河内本部事務局長より、今後、全国の協会関係者とリスクマネジメントについて協議をしていく。（水抜きなどによる過度な減量やその影響、スパーリングのやり方など）

■試合を担当した試合役員（レフェリー・インスペクター）より、当時の状況や進行上気付いた点など意見交換が行われた。

■中部・関西・西部の役員より意見交換がされた。

■コミッションより、事故が発生した際、速やかに救急搬送ができるよう、後樂園ホール及び東京ドームと改善点などの話し合いを行っていく。

【事故を防ぐためにできること】

- ・負傷した選手へのドクターチェックの重要性
- ・リング最下段のロープのチェック（緩めるにしておく）
- ・エプロン付近にクッションなどの衝撃を緩和する措置をとる（倒れた選手の後頭部保護）
- ・試合に関わる試合役員自身の体調管理の徹底と、常に選手の命の瀬戸際にいることへの責任と自覚を持つこと

【その他・連絡事項】

■試合会場での言動や佇まいなど、常に見られているという意識を持ち、気を引き締めて臨んで頂きたい。仲間内でもお互い声をかけ合ってやっていくことを確認。

■SNSでの発信にはくれぐれも注意すること。（ルール第88条 守秘義務）